

長野原警察署協議会議事録
(令和5年度第2回定例会議)

開催日時	令和5年9月26日(火) 午後4時5分から午後5時30分までの間		
開催場所	長野原警察署会議室		
出席者	委員 (定数5人)	豊田会長 篠原委員 宮崎委員 黒岩委員 野寺委員	計5人
	警察	代田署長 吉井副署長 櫻井会計課長 早川生活安全課長 富岡地域課長 長井交通課長 塚田警備課長 警務課員	計8人
	その他		
議 事 の 概 要			
<p>1 挨拶概要</p> <p>(1) 会長挨拶</p> <p>今回の警察署協議会では、管内の概況説明等の後、警察から提示された諮問「コロナ禍後における交通事故情勢と抑止対策」について委員各位からの意見を取りまとめ、警察への答申をする予定である。今後の秋の行楽期や冬の降雪期を控え、多くの観光地を有する西吾妻地区の交通事情をより安全なものとするため、有益で現実的な答申にしたいと考えており、委員各位には活発な意見をいただきたい。</p> <p>(2) 署長挨拶</p> <p>当署では管内の治安維持のため、日々、署員一丸となって各業務に取り組んでいるところ、今回の警察署協議会では業務概況等について説明の後、交通事故抑止対策に関する諮問を行うので、委員各位から忌憚のない御意見、幅広い御要望等をいただきたい。また、警察署協議会と警察署による協働の活動が益々活発になることを祈念する。</p> <p>2 治安概況説明</p> <p>署長から、管内刑法犯認知・検挙状況、管内交通事故発生状況、管内110番通報受理状況、主な事件検挙状況、主な警察活動を説明した。</p> <p>【意見・質疑等】(○～委員、●～署長等。以下同じ。)</p> <p>○ 被害者支援について行っていることを教えてもらいたい。〔質問〕</p> <p>● 犯罪被害者等支援条例が管内3町村の6月議会で公布・施行となり、同条例を適切かつ有効に運用するため、当署と管内3町村の間で協定を締結した。重傷事案や性犯罪等が発生した際には必要に応じて各町村と連携をとり途切れのない支援を行う仕組みができた。〔回答〕</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 信号機撤去提案への対応状況(報告者～交通課長)</p> <p>前回の警察署協議会で「草津町内で天狗山レストハウス前の丁字路交差点に設置された信号機を撤去してはいかが。」との意見を受け、信号機が撤去できるか否かについて判断するため、交通量調査を行った結果、交通量は多くはなく信号機を撤去できる可能性があることが確認できた。今後は、道路管理者との代替交通安全対策の検討、地元住民の総意確認を行い、スキーシーズンの交通状況も確認しながら、慎重に検討していきたい。</p>			

○ 安中榛名駅前に設置されているラウンドアバウトの新聞記事を見て、信号機に代わる改善例と感じた。黄色信号を見た運転者が逆にスピードを上げるなど信号機があることで危険性が増すこともある。〔意見〕

● ラウンドアバウトでは、看板で行き先が明示され、車両速度が下がって気持ちに余裕ができ、安全性の向上が期待できることから今後の参考としたい。〔回答〕

(2) 特殊詐欺の発生状況（報告者～生活安全課長）

8月9日に当署管内で「孀恋村居住80歳独居女性が、息子らを装う犯人に言葉巧みにだまされ、現金を渡してしまった。」という特殊詐欺事件が発生した。

一度だまされれば最後までだまされ続けてしまうことから、対策としては、防犯機能付きの電話機の導入が重要である。

○ 銀行窓口で出金を止められないように、犯人が被害者に言った指示内容は、どのような内容か。〔質問〕

● 犯人は被害者に対し、高額出金の理由として「住宅のリフォーム代や車両修理代に必要」と言うように指示をし、被害者はそのとおりにしてしまった。〔回答〕

4 諮問事項

「コロナ禍を経た交通事故情勢と抑止対策」について、委員に諮問した。

○ 観光地という土地柄、曜日の関係なく観光客が多い。

そして、高齢者が多く、山間部なので車がないと生活しづらいことから、高齢者は運転免許証の返納をしにくいと聞いている。

西吾妻地区の中では孀恋村で「おでかけタクシー」という助成事業があり、高齢者対策が進んでいる。

長野原町でもオンデマンドタクシー等の交通インフラ整備により、返納後の交通手段について対策が進めば、高齢者による運転免許証の返納が進むことが期待され、交通事故抑止につながる。〔意見〕

○ パノラマラインと国道にぶつかる場所に一時停止があるが、停止しない車両が多く危険である。パトロール等対策をお願いしたい。〔要望〕

● 交通取締りやパトロール強化等をしたい。〔回答〕

○ 以前、大柏木トンネル出口付近で事故が多発していたが、対策をしていただいたおかげで事故が減ったと思う。〔意見〕

● 同所では交通取締りを強化したほか道路管理者と道路の交通安全対策を進めたことにより、今では交通事故件数は大きく減少している。〔回答〕

○ 高齢者対策はどのようなことを行うのか教えてもらいたい。〔質問〕

● 歩行者として道路の端を歩くことはもちろん、道路を横断する際は横断歩道等を左右の安全確認をして渡る、また、夜間歩くときは反射材を着用するなどの指導を行っている。このように高齢者の特性を踏まえた指導に力を入れている。〔回答〕

○ 草津町では道に不慣れな観光客等が多く、携帯電話の地図アプリ等を使用し走行することから交通渋滞が多いと感じている。

道路案内板等をもっと分かりやすいものにし、観光客が安心して走行できる街にできれば、交通事故が減るのではないか。〔意見〕

● 自治体や道路管理者と連携し、改善していきたい。〔回答〕

なお、協議の結果、協議会として、「長野原警察署管内は観光地であり、管外からの人の流れが多く、また効果的な高齢者対策が求められることから、警察によるこれまでの交通安全対策に加え、住民の意見に耳を傾けつつ、警察と自治体、道路管理者、関係団体、それに署協議会員等が一丸となり、総合的な交通安全対策を進め、西吾妻地区の安全を守っていく。」旨の答申がなされた。

5 備考

次回の定例会議は、令和5年12月中に開催することとした。